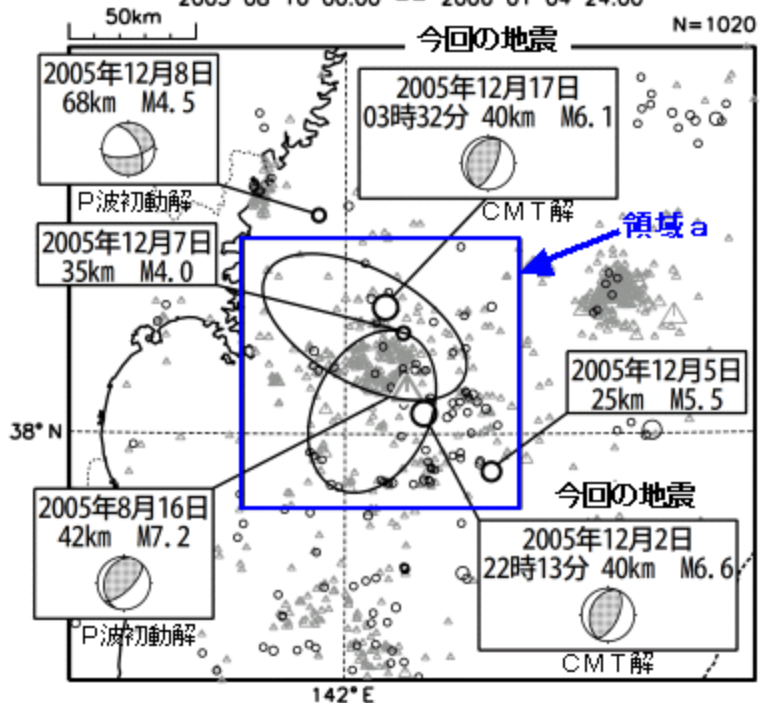


12月2日、17日 宮城県沖の地震

震央分布図 (2005年8月16日以降、 $M \geq 2.0$)

2005年12月以降を濃い○で表示

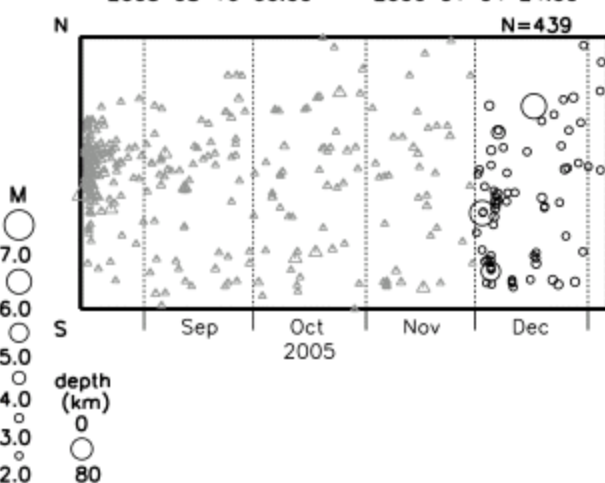
2005 08 16 00:00 -- 2006 01 04 24:00



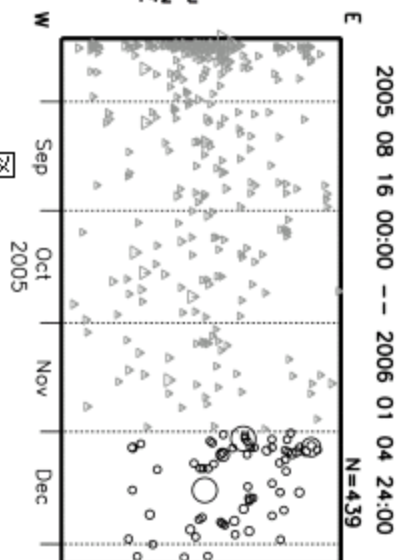
震央分布図中の は、地震調査委員会による想定震源域

領域a内の時空間分布図 (南北投影)

2005 08 16 00:00 -- 2006 01 04 24:00

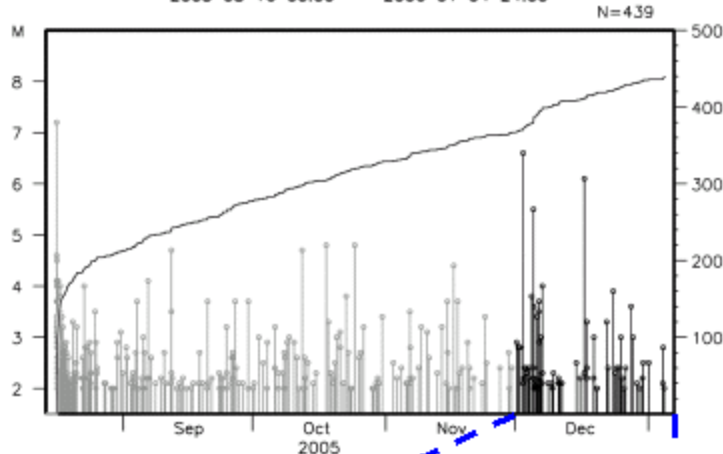


領域a内の時空間分布図 (東西投影)



領域a内の地震活動経過図、回数積算図

2005 08 16 00:00 -- 2006 01 04 24:00



12月2日22時13分に宮城県沖の深さ40kmでM6.6 (最大震度3) の地震が発生した。この地震の震源は、8月16日に発生したM7.2の地震の南東約10kmに位置し、これまでの最大の余震と考えられる。この地震の発生後、余震が一時的に増加したが、その後は余震活動状況に顕著な変化は見られない。

また、12月17日03時32分に宮城県沖の深さ40kmでM6.1 (最大震度4) の地震が発生した。この地震の震源は、8月16日の地震の余震域の北端付近に位置する。

発震機構は、いずれの地震も、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

